

2013/12/25 (Wed.) 第84号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 - 発行所 -
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

平成26年度診療報酬改定 プラス0.1%で決着

今回の予算編成・診療報酬改定に際し、財務省は財政再建や消費増税に伴う国民負担を増やさないようにとの理由から診療報酬の大幅引き下げを主張していた。日医連(日医)は、横倉義武委員長以下全役員が都道府県医師連盟・郡市区医師連盟のご協力のもと、超高齢社会を迎える二〇二五年を見据えて、適切な社会保障財源の確保についての要請活動を自民党・公明党の国会議員に対し幅広く展開した。その結果、多くの国会議員の先生方のご理解とご支援をいただき、政府が決定した診療報酬



「国民医療を守る議員の会」総会で挨拶する横倉義武委員長(11月19日)

平成26年度予算編成の最大の焦点であった診療報酬改定について、12月20日、麻生太郎財務大臣と田村憲久厚生労働大臣の大臣折衝が行われ、診療報酬全体としてプラス0.1%で決着した。今回の改定には消費税補填分も含まれており日医連(日医)や医療関係団体、厚生省が当初主張していた、いわゆるネットプラス改定とはならず、残念な結果となった。

今回の改定では、四月から消費税率が八%へ引き上げられることに伴う、医療機関の控除対象外消費税補填分としての、一・三六%が含まれている。当初、財務省は消費税補填分については一・二三%と主張し、日医や厚生労働省が主張していた一・三六%とは大きな隔たり

初・再診料を中心に補填へ
 消費税補填分は一・三六%
 酬全体の改定率は、一〇・一%
 (本体一〇・一%、消費税補填分一・三六%、薬価▲一・三六%)となった。

政府は、総額九十五兆八千八百億円となる、平成二十六年度予算案を十二月二十四日、閣議決定した。予算案では、社会保障費として、三千兆五千億円が計上された。また、消費税増税に伴う増収のうち「社会保障の充実分」として約五千億円を充てた。「充実分」の内訳として、医療・介護分野に約千九百億円が充てられることとなり、診療報酬とは別枠で、医療・介護サービスの提供体制改革のための九百億円規模の基金の設置や、七対一病床の見直しに伴う経過措置として二百億円規模の予算措置が講じられた。

日医連(日医)は、国民が安心して医療を受けられるための医療提供体制の構築には、医療機関における控除対象外消費税について、今まで以上に医療機関の負担が増加することは、医療機関の経営に悪影響を及ぼし、医療崩壊が加速する懸念があると、与党国会議員に対し粘り強く訴えた。
 その結果、最終的に消費税増税補填分については、日医や厚生省の主張が一〇〇%認められ、一・三六%(本体一〇・一・六三%・薬価一〇・七三%)となった。
 今後は、中医協の場において具体的な配分について議論が行われるが、消費税増税補填分について、政府は初・再診料への補填を検討している。

来年度予算案、医療提供体制 改革のための基金を設置

平成26年度税制改正(医療に関係する主な項目)

日医の要望事項	税制改正大綱
1. 社会保険診療報酬等に対する事業税非課税の存続 【事業税】 2. 医療法人の事業税について特別法人としての軽減税率課税の存続 【事業税】	検討事項(26年度は存続)
社会保険診療報酬に関わる所得計算の特例の存続 【所得税・法人税】 (いわゆる「四段階税制」)	存続
相続税および贈与税の納税猶予制度の拡充 【相続税・贈与税】 (持分の定めある医療法人の出資持分についても、中小企業の株式と同様の納税猶予制度を創設すること等)	持分なし医療法人への移行を条件とする相続税・贈与税の納税猶予等の制度創設
子育てサポート企業に対する税制優遇制度(くるみん税制)の適用期限延長 【所得税・法人税】 (事業所内託児所の税制措置)	1年延長
成長戦略の一環として医療設備の防災対策や高度化等を支援するための設備投資減税措置の創設 【所得税・法人税・固定資産税】	耐震改修投資促進税制(所得税・法人税)の創設 耐震改修を行った既存家屋に関わる固定資産税減額措置の創設等
中小企業投資促進税制の拡充および適用期限延長 【所得税・法人税】	拡充および3年延長

自民、公明両党は十二月十二日、平成二十六年度税制改正大綱を決定した。
 医療に関する主な税制改正については、日医をはじめ各医療関係団体の要望について、概ね要望どおりの結果となった(別表参照)。
 来年度の税制改正については、日医連(日医)役員が与党の国会議員へ強力に働きかけを行った結果、要望が認められることとなった。

平成26年度 税制改正大綱決定

診療報酬プラス改定への働きかけが活発に行われる!

自民党「国民医療を守る議員の会」

安倍総理に 診療報酬改定に関する決議を提出!

十二月十日、国会内において、「国民医療を守る議員の会」(会長 高村正彦自民党副総裁)の第三回総会が開催された。総会では今次診療報酬改定に関する決議文が全会一致で採択された。決議文は、平成二十六年診療報酬改定に当たり、①「医療提供体制の改革等を着実に進める上での財源の確保」、②「医療提供体制の改革」、③「必要な医療の確保」、④「消費税引き上げへの対応」についての諸課題に取り組んでいくことを求める内容。なお採択された決議文は、同日夕、高村会長ら議連役員から安倍晋三内閣総理大臣に直接手交された。

当日の総会には日本医師連盟(日本医師会) 役員をはじめ、

十二月十日、国会内において、「国民医療を守る議員の会」(会長 高村正彦自民党副総裁)の第三回総会が開催された。当日は二百名を超える国会議員(代理含む)と、日医連役員はじめ全国の都道府県医連役員等約百二十名の医師連盟関係者が出席した。横倉義武日医連委員長、今村聡副委員長から平成二十六年度予算編成(診療報酬改定等)、税制改正等に関する日医連からの要望が行われた。席上、横倉委員長から診療報酬ネットプラス改定を求める理由について詳細な説明がなされた。そのうち意見交換が行われ、多くの自民党議員へ日医連の要望内容を詳しく説明する絶好の機会となり、有意義な会議であった。

本議員連盟は、十一月八日に「わが国の優秀な医療水準のさらなる向上と、地域医療の再生を実現するために、適切な社会



12月10日 第三回「国民医療を守る議員の会」総会で挨拶する横倉義武委員長(写真右側)



11月19日 第二回「国民医療を守る議員の会」総会

日本歯科医師連盟(日本歯科医師会)、日本薬剤師連盟(日本薬剤師会)が出席した。

第二回議連総会では日医連(日医)の要望をヒアリング

第三回総会に先立つ十一月十九日には、同議員連盟の第二回総会が開催された。当日は二百名を超える国会議員(代理含む)と、日医連役員はじめ全国の都道府県医連役員等約百二十名の医師連盟関係者が出席した。横倉義武日医連委員長、今村聡副委員長から平成二十六年度予算編成(診療報酬改定等)、税制改正等に関する日医連からの要望が行われた。席上、横倉委員長から診療報酬ネットプラス改定を求める理由について詳細な説明がなされた。そのうち意見交換が行われ、多くの自民党議員へ日医連の要望内容を詳しく説明する絶好の機会となり、有意義な会議であった。

十二月十二日、自民党の中心若手議員と日本医師連盟との医療政策に関する勉強会、「医療政策研究会」(会長 武見敬三)が開催された。当日は代理を含む四十五名の国会議員が出席し、日医連からも役員十一名が出席した。冒頭、武見会長から次のような挨拶があった。

「平成二十六年度予算編成に関する診療報酬改定については、消費税引き上げ分については、厚生労働省と財務省との間に、医療機関における控除対象外消費税の換算率に隔たりがあり最終的な調整はかられることになっている。もう一点は、薬価引き下げ財源の使途に関する取り扱いについてどのように財源に組み込むか、その配分バランスにより、診療報酬の改定率が



12月12日 第六回「医療政策研究会」で挨拶する横倉義武委員長(写真右側)

第六回医療政策研究会開催 診療報酬改定に向け議論

三参議院議員)が開催された。当日は代理を含む四十五名の国会議員が出席し、日医連からも役員十一名が出席した。冒頭、武見会長から次のような挨拶があった。

「平成二十六年度予算編成に関する診療報酬改定については、消費税引き上げ分については、厚生労働省と財務省との間に、医療機関における控除対象外消費税の換算率に隔たりがあり最終的な調整はかられることになっている。もう一点は、薬価引き下げ財源の使途に関する取り扱いについてどのように財源に組み込むか、その配分バランスにより、診療報酬の改定率が

「診療報酬改定率については控除対象外消費税への対応分を除き、ネットプラスとすること」、「控除対象外消費税対応として十分な改定を行うこと」、「消費税引き上げにより、国民が医療の充実を実感できるように

- 主な役員**
- 特別顧問 伊吹文明 衆議院議長
 - 会長 高村正彦 衆議院議員
 - 会長代行 鴨下一郎 衆議院議員
 - 会長代理 上川陽子 衆議院議員
 - 幹事長 武見敬三 参議院議員
 - 幹事長代行 菅原一秀 衆議院議員
 - 事務局長 加藤勝信 衆議院議員

「カトレア会」メンバー

平成25年12月12日現在

(衆議院)			
資格	氏名	選挙区	
1	医師	鴨下 一郎	東京13
2	医師	富岡 勉	長崎1
3	医師	三ツ林 裕巳	埼玉14
4	医師	今枝 宗一郎	愛知14
5	医師	勝沼 栄明	比例・北海道
6	医師	新谷 正義	比例・北関東
7	医師	赤枝 恒雄	比例・東京
8	医師	小松 裕	比例・北陸信越
9	歯科医	白須賀 貴樹	千葉13
10	歯科医	比嘉 奈津美	沖縄3
11	歯科医	渡辺 孝一	比例・北海道
12	薬剤師	松本 純	神奈川1
13	薬剤師	とかしき なおみ	大阪7
14	看護師	あべ 俊子	比例・中国

(参議院)			
資格	氏名	選挙区	
1	医師	古川 俊治	埼玉
2	医師	羽生田 俊	比例
3	歯科医	関口 昌一	埼玉
4	歯科医	石井 みどり	比例
5	歯科医	島村 大	神奈川
6	薬剤師	藤井 基之	比例
7	看護師	高階 恵美子	比例
8	看護師	石田 昌宏	比例
9	検査技師	伊達 忠一	北海道
10	検査技師	赤石 清美	比例

(順不同・敬称略)

「カトレア会」開催

十二月十二日夜、自民党の医療関係資格所持議員の会である「カトレア会」(会長 鴨下一郎 衆議院議員(医師) 別表参照)が七月の参議院議員選挙後初めて開催された。

日医連からは、横倉委員長はじめ七名の役員が出席し、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、検査技師資格を有する議員や、関係団体と医療政策に関する意見交換を行った。とくに佳境を迎えていた、平成二十六年度予算編成ならびに診療報酬改定については、国民医療を守るための真に必要な社会保障財源の確保に向けた取り組みについて、各議員や団体から積極的な発言が相次いだ。

診療報酬の手当()を行い、その財源は消費税引き上げ財源から確保すること、「過去の改定と同様、薬価等の改定財源は診療報酬本体部分へ繰り入れられること」

「平成25年度 第1回 日医連医政活動研究会」開催



挨拶する横倉義武委員長

来賓として出席した。研究会は今村副委員長の司会で開会。横倉委員長より、開催に当たり次のような挨拶があった。

「医師連盟の活動目的は、日医のさまざまな医療政策課題を解決するための政治活動を行うことである。私たちの目指す政策の基本は、『国民に安心・安全な医療を提供すること』、『国民皆保険を堅持すること』であり、この二点をし

平成二十三年度から毎年実施されている「日医連医政活動研究会」が十二月十五日、東京都内で開催された。この会は、全国の若手医師連盟会員を対象として、医政活動の重要性を認識してもらうための研修会である。

「当日は、全国から八十一名の研究会メンバーである若手医師およびオブザーバー、事務局など合計約百三十名が参集した。日医連からは横倉義武委員長、中川俊男、今村聡副委員長が出席し、羽生田俊参議院議員も



挨拶する羽生田俊参議院議員

高齡化がピークを迎える二〇二五年に向けてどのような医療提供体制を構築していくかという問題は、本日出席している若手の先生方がまさに直面する課題であり、しっかりと議論をいただきたいと考えている。また、今後は各都道府県において、このような医療政策や医政に関する勉強会を開催していただき、多くの先生方に共通認識をもっていたいただきたいと考えている。とくに郡市区医師連盟の一般会員の先生方に医療政策や医政活動についての理解を深めてもら

いたいと考えているので、都道府県ごとの開催をお願いしたい(要旨)」
続いて羽生田参議院議員から、参院選挙支援に対する御礼の言葉があり、次のような挨拶があった。
「現在、自民党での政策決定の過程においては、政務調査会の部会において、すべての法律案が審議されることになっている。この部会では一年生議員でも、十期生のベテラン議員でも同じように発言することができ

る。私も、とくに厚生労働部会において、積極的に発言を行った。多くの同僚・先輩議員の発言により、原案から内容を修正させたこともあった。このことから私は、一人でも多くの議員の方々に医療の現状について正しく理解していただくことが極めて大切な医政活動のひとつであると感じた。ぜひ、先生方には、地元

の議員の方々に、どのよう医療政策が必要か、日本の医療について日常的に話し合う機会をつくっていただくことが、医療政策理解のための一助となり、政府与党に対してのある種の力となり、ひいては日本の医療をさらによいものと発展させることにつながると思う。



日医連医政活動研究会

議員から「参議院議員選挙結果について、『日医連の陳情活動内容の実際について』、『各種議員連盟について』、『医療をめぐる税制の諸課題について』説明が行われた。

引き続き、中川副委員長から「医療政策に関して」と題し、「T P P 条約」、「成長戦略、規制緩和(混合診療・保険外併用療養)」、「医療費の適正化」、「診療報酬改定」、「医学部新設問題・医師の偏在」の課題や問題点について解説が行われた。

そのうちに質疑応答が行われ、「医師会(医師連盟)の組織率向上」、「医師会の広報戦略」、「医学部新設問題」、「控除対象外消費税問題」、「勤務医の医師会活動参加」などの質問があり研究会は閉会となった。
研究会閉会后、会場を移し、意見交換会が開催された。研究会メンバーは、医療政策や医政活動に関する疑問点を日医連役員に質問するなど、闊達な意見交換が行われた。